

保険でより良い歯科医療を求める 請願署名にご協力を

歯の治療が必要でも多くの方が受診できていません。主な理由として保険のきく範囲がせまく窓口負担が高くお金が心配であること、高齢者や障がい者など通院が困難であることなどが挙げられます。



歯科医療が必要な人すべてに提供されることは、基本的人権に由来した健康に生きる権利(健康権)、憲法 25 条で保障された国民の権利です。国には社会保障として誰もがが必要な歯科医療を受けられるようにする責任があります。

経済的な心配をせず、必要な時に必要なサービスを利用、提供できる制度へ転換するために、署名にご協力をお願いします。

協会・保団連は、「保険でより良い歯科医療を求める」請願署名を 6 月まで行い、この願いを国会に届けます。

要請項目は、①窓口負担の引き下げ、②保険適用範囲の拡大、③国の歯科医療予算の大幅拡大です。目標は 1 万 5 0 0 0 筆です。ぜひとも署名へのご協力をお願い申し上げます。

〈取り組みのお願い〉

歯科会員の先生には 1 月中に郵送で、医科会員の先生には月刊保団連 2 月号に同封して、署名用紙をお届けしております。

先生のご署名とともに、職員のみなさま、患者さんに呼びかけていただきますようお願いいたします。

＊追加のご注文がございましたら下記、番号までご連絡ください。

＊ 1 人用の署名用紙も用意していますので、他の人の目に触れる心配もありません。

＊署名付きポケットティッシュ、ハガキ署名、リーフレットもご用意していますのでご活用ください。

署名の注文は TEL078-393-1809 まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2023年6月25日号 No.337

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル 5 階

☎ (078) 393-1801 FAX (078) 393-1802

http://www.hhk.jp/

職員接遇研修会 感想文

医療現場の接遇 心に響く話し方

みやそう病院 看護師 土岐 実加



講師の水原先生（右上）が、患者接遇のポイントについて解説

支部は 4 月 15 日に接遇研修会を宝塚市内で開催し、会員医療機関のスタッフら 38 人が参加した。元・大手前短期大学教授の水原道子先生が「医療スタッフの接遇の基本と話し方」をテーマに講演した。参加者の感想文を紹介する。

「患者さん、家族さんに自分のファンになってもらうこと」「人に好かれるには、優しさ、明るさ、謙虚さが必要。信頼されるには技術、情報力、記憶力が必要」「言葉の使い方によって組織レベルを評価される」「1 分話しを聞くだけで患者さんは満足感を得られる」「プラスアルファの言葉をつける」－これらの言葉は、研修の中
(次のページに続く)

(前のページより)

で印象に残ったことです。今まで接遇研修と言えば、礼の仕方、言葉の使い方という内容のものが多く、医療現場での接遇というには違和感がありました。しかし今回水原先生の講義で医療現場に必要な接遇とは優しさであり、一般企業に必要なおもてなしの接遇とは異なるということを知り、違和感の原因がはっきりしました。優しさについて私は深く考えたことはなく漠然と思うだけでした。



ペアとなって受け答えの練習をする参加者

印象に残った言葉を改めて考えた時に、優しい気持ちが根本になればこれらの行動には繋がらないということが分かりました。また、言葉の使い方に関しても、尊敬語を使うようにと今までは言われていましたが、私の中で尊敬語を使うより、その言葉に心が入っていれば必ず尊敬語でなくてもいいのではないかと思います。腑に落ちない気持ちでした。しかし病院の評価につながるために、一定のレベルの言葉を使うことは必要ということを知り、腑に落ちました。

今回の研修は私の今後の行動指針を決める上でターニングポイントとなった研修でした。この研修に参加できたことに感謝致します。

☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail s_oohashi@doc-net.or.jp 担当：大橋まで



兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>

＊生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください！



幹事会だより

第 428 回 6 月 1 日 (木) 参加 6 人

◆北阪神支部の会員数と組織率

5/31 現在 医科 364 人 (74 %)、歯科 213 人 (66 %)

◆情勢と医療運動対策

在宅医療研究会、北阪神支部第 38 回支部総会について話し合われた。テーマはそれぞれ「老衰」「認知症」はどうかという案が出た。

◆当面の支部活動

文化企画としてバスツアーを開催予定。

◆次回幹事会

7 月 6 日 (木) 14 時 30 分～「東り いたみホール 第 3 会議室」にて開催予定

お問い合わせは TEL 078-393-1817 小川・大橋まで

健康情報テレホンサービス 通話料無料 (0120) 979-451



★ 24 時間いつでも 3 分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★ インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URL は、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【7月のテーマ】

月曜日 加齢黄斑変性症
火曜日 歯周病と糖尿病の関係
水曜日 むずむず脚症候群
木曜日 真珠性中耳炎
金土日 多型滲出性紅斑

★ 7 月 17 日 (月・祝) は金土日のテーマを放送します。

★ 都合により、テーマの一部を変更する場合があります。祝日は、前日のテーマを放送します。

★ 患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ (A6 サイズ) を作成しています。送付ご希望の医療機関は事務局 ☎ 078-393-1840 まで。